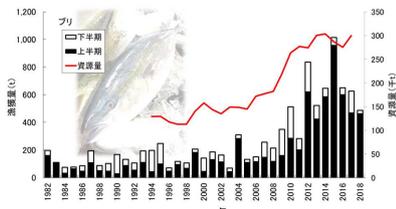


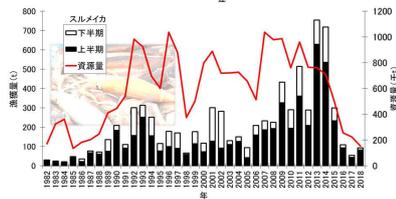


令和元年6月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

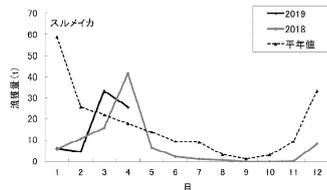
静岡県定置協会総会で漁獲動向について講演



←ブリの資源量（折れ線）と伊豆東岸定置網の漁獲量の推移



←スルメイカの資源量（折れ線）と伊豆東岸定置網の漁獲量の推移



←スルメイカの月別漁獲量（2019年、2018年、1982～2018年の平均値）の推移

5月24日に伊東市で開かれた静岡県定置漁業協会通常総会にて、当场より、伊豆東岸定置網のブリ、スルメイカ等について、近年の漁獲動向や1～4月の漁況経過に関する講演を行いました。ブリの漁獲量は近年高水準で推移しており、今年は3月下旬～4月上旬に谷津、北川、富戸漁場で銘柄ぶり（6kg以上）の入網が集中しました。しかし、それ以降漁獲量は伸びず、川奈以北の漁場への入網も少量でした。一方、スルメイカの漁獲量は数年前の資源量激減以降、低水準で推移しています。例年12～1月が漁獲の盛漁期ですが、近年の盛漁期は3～4月で、資源低水準期の1980年代と同様の傾向を示していることから、これは資源低水準期の特徴と考えられます。

当场ではこうした漁獲動向等の調査を継続して実施しており、得られた知見は今後も定置漁業者の方々へ随時情報提供致します。

イセエビ漁禁漁と漁獲物調査

5月14日に南伊豆町の下流でイセエビの刺網漁獲物の体長測定を行いました。当日はあいにくの雨で水揚量は多くありませんでしたが、測定した結果、頭胸甲長は小銘柄45～55mm、中銘柄50～75mm、大銘柄75～90mmで、水揚げの主体は中銘柄でした。測定翌日の15日から、イセエビの刺網漁は禁漁期間となりました。9月の解禁前には、当场が漁期の漁獲量を予測、公表させていただきます。秋の禁漁明けには、伊豆地域を代表する水産物の豊漁を期待しています。



↑水揚げされたイセエビと体長測定の様子

解説：イセエビ：資源保護のため、5月15日～9月15日は禁漁となる。また、漁期中も漁業者自らが禁漁日と禁漁区を設け、混獲された仔エビを海に放流している。

チリモンゲットだぜ

しらす干しに含まれるシラス以外の魚などを探る体験活動「チリモン教室」が注目を浴び、当场では5月から6月にかけて2回行いました。一つは熱海駅で行われた静岡DCの伊豆青空市、もう一つは伊東で行われたサバソニック&アジロックイベントです。

伊豆青空市では熱海に来た観光客、サバソニックでは地元小学生を対象に、伊東湾で獲れたちりめんを用い、チリモン探しを体験してもらいました。



↑伊豆青空市 ↓サバソニック



解説：静岡DC（デスティネーションキャンペーン）：自治体、地元関係者、JR、旅行会社の協力による観光誘客キャンペーン。今年は4月1日から6月30日までで、来年4月～6月にアフターキャンペーンがある。

6月の予定 ●マダイの中間育成が5日網代、6日田子で始まります。 ●キンメダイ種苗生産研究のために船上受精を開始します。 ●アワビ類の加入量調査を実施しています。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu